R185 みちばた会議

沿線地域が一体となって作り出す「R185 物語」

国道 185 号沿線（呉市、東広島市、竹原市、三原市）は、昔から「海の駅」として栄え、遣隋使や遣唐使が行き交い、源平の合戦の舞台となった。水軍の拠点となった戦国時代から江戸時代にかけても海路が重要な交通手段であったため、このあたりは港町として大いに賑わい、発展してきた。

■地域のねらい

目的：瀬戸の多島美を望み、独特の文化・歴史・風土・自然を備えた国道１８５号沿線を舞台として、地域をつなぎ、より魅力ある地域を形成していくことを目的とする。

方針：地域住民が主体となった道づくり・地域づくりを通して、より魅力ある地域を形成するとともに、内外への情報発信を行い広域的な観光客等、交流人口の拡大により地域の活性化を図る

■活動エリアと地域資源

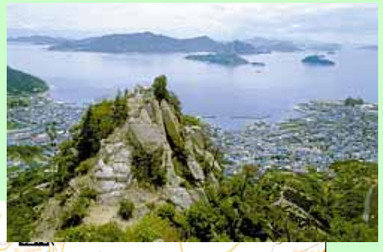
活動エリアは、国道１８５号をメインの骨格ルートとし、みちばた海道マップの中で紹介している、枝線となる清盛街道・杜氏のふる里ロード・スナメリロード等をサブ骨格ルートとして、島嶼部を含めた国道１８５号沿線地域一帯とする。

地域資源としては、野呂山や黒滝山、筆影山等、瀬戸の多島美が一望できる自然景観資源や大和ミュージアム、万葉の里、町並み保存地区（伝統的建造物群保存地区）等の歴史文化資源を数多く有する。

代表的な自然環境資源

筆影山からの瀬戸の多島美

黒滝山からの眺望



代表的な歴史文化資源

大和ミュージアム

万葉の里

町並み保存地区（頼惟清旧宅）

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆野呂山看板設置イベント

瀬戸の“奥入瀬”と言われる野呂山への裏ルート「野呂清流ロード」を広くＰＲする為、地域住民が主体となって、現地に案内看板を設置した。
実施者：R185 みちばた会議

野呂山看板設置イベント

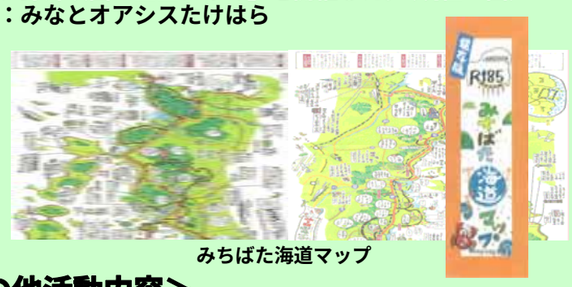
◆みちばた情報

R185 みちばた会議の活動内容を広くＰＲする為、「みちばた会議瓦版」を発行している。（現在４版）
また、地域住民が持ち寄った情報を基に、地域情報を満載した「R185 みちばた海道マップ」を作成した。（現在２版）
実施者：R185 みちばた会議

◆星空シネマ

国道１８５号沿いの地方港湾竹原港において、港に賑わいを取り戻す為、野外映画「星空シネマ」を開催した。（現在２回）
実施者：みなとオアシスたけはら

星空シネマ



みちばた海道マップ

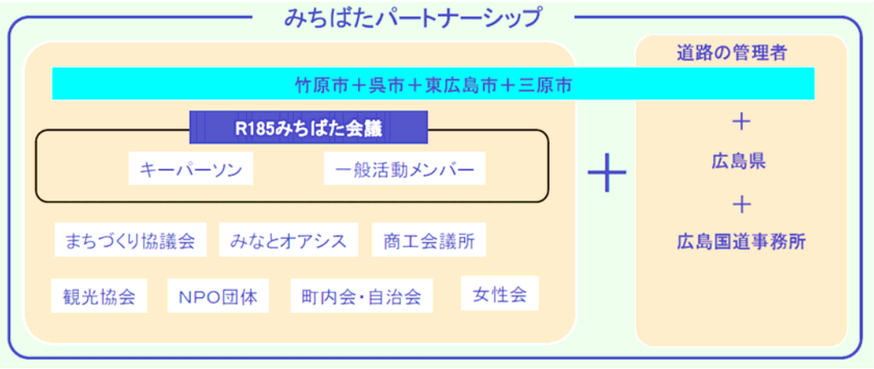
瓦版

＜その他活動内容＞

◆「安浦バイパス開通記念」イベント開催
◆「来てみんさいR185 エデンの海」イベント開催
◆みちばたフォーラム＆みちばた会議の開催
◆町並みウォーキング＆ライブコンサートIN竹原
◆みちばたフォーラムINあきつ「万葉の里・杜氏のふる里・グルメのまち」イベント開催
◆バスツアー（安浦・忠海）

■地域の活動推進体制

呉市・東広島市・竹原市・三原市の４市、および国道１８５号沿線住民、団体、そして各道路管理者によりパートナーシップを構成する。



歴史街道　「萩往還」
～古の交流の想いを今に伝える街道づくりを目指して～

■地域のねらい

目的：江戸時代から幕末期における歴史遺産が多く現存する萩において、「萩往還」に古の交流の想いを重ね、近代日本の礎を築いた偉人の軌跡などを広く全国に紹介し、萩に訪れる人々との出会いを創造していく。

方針：まちじゅうが博物館であるという「萩・まちじゅう博物館」構想に基づき、国指定史跡「萩往還」を後世に引き継ぐべき地域資源として保存、整備をすすめるとともに、観光資源のひとつとして活用を図っていく。

■活動エリアと地域資源

活動エリアは、「萩往還」と国道 262 号を中心とした萩市域内である。本圏域は江戸時代から幕末期にかけての歴史遺産が今もその姿を留め、萩城跡、松下村塾や明倫館、吉田松陰をはじめ近代日本の礎を造った多くの偉人たちの軌跡が点在し、歴史を感じることのできる景観を多く有している。特に萩市街地は江戸時代の古地図が今も使えるという全国でも珍しいまちであり、史跡や伝統的な建造物の保存に努めるとともに、市内全域において、まちじゅうが博物館であるという「萩・まちじゅう博物館」構想に基づいたまちづくりを進めている。

将来的には、山口市と防府市の協力のもと、歴史・文化・自然を学ぶことのできる生きた古道「萩往還」の全線を活動エリアに広げていこうとしている。

歴史街道「萩往還」

萩城址

松陰誕生の地

菊屋横丁（萩城下町風景）

「萩往還」　石畳

「萩往還」涙松跡

「萩往還」上長瀬一里塚跡

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆歴史景観を活かす街道整備事業

国の策定した歴史の道「萩往還」整備・活用マスタープランに基づき、萩市・山口市・防府市との連携のもと、萩往還整備活用計画を策定するとともに、「萩往還」を保存、整備、活用していく。

実施者：萩市・山口市・防府市・山口県

萩往還

◆「萩往還」広報事業

本圏域内の自然・歴史・文化をはじめとした地域資源とあわせ、「萩往還」の紹介を行っていく。

実施者：社団法人萩市観光協会・NPO 萩観光ガイド協会・萩市

萩往還散策マップ

◆「萩往還」活用事業

「萩往還」を活用し、ウォーキング大会や沿線でのイベントなどを通して、市内外の交流を創出していく。

実施者：萩歩こう会・萩往還工芸まつり実行委員会・萩市

萩・山口歴史ウォーク

＜その他活動内容＞

◆清掃活動

◆自然景観の維持活動

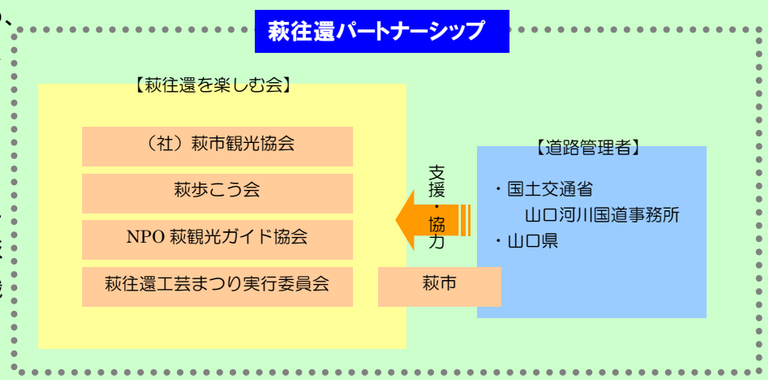
■地域の活動推進体制

１）萩往還パートナーシップ

「萩往還」を後世に継承していくため、その活用と整備について連携・協力して具体の活動を行う。

２）萩往還を楽しむ会

萩地域における「萩往還」の利活用について企画運営する団体で構成され、萩往還パートナーシップの母体となる組織



人間文化の原風景
～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～

■地域のねらい

目的：圏域住民と来訪者が、この圏域にある自然・景観・歴史・文化を通して「心を通わせる」＝「ご縁を結ぶ」ことのできる“新たな心の通ひ路”を創造する。

方針：美しい自然・景観、悠久の歴史、和譲の心を保全・継承し、「社寺縁座の国」として、県境を越えて活動をつなぎ、おもてなしの心でご縁を結び、癒しの場での交流を促進する。

■活動エリアと地域資源

活動エリアは、鳥取県・島根県にまたがり、中海・宍道湖・大山に隣接する 10 市町の行政区域にわたる。本圏域は、出雲の国風土記の冒頭を飾る「国引神話」の舞台としての地形景観を今に残し、中海・宍道湖・日本海の水辺の自然・景観と大山、島根半島など神話の舞台の山並み景観を有している。そして、出雲国風土記に記載されている古い歴史を持つ多くの社寺や地名が残り、人間文化の原風景を共有する地域である。これまで、県境が地域の連携を妨げてきたが、中海・宍道湖沿岸の商工会議所や自治体が連携した「中海宍道湖大山圏域観光連携事業推進協議会」の設置により、連携の具体的な行動が実現化している。さらに宍道湖・中海のラムサール条約登録とともに景観や環境保全の面での連携の機運も高まっている。従来から宍道湖・中海を囲む地形形状から「８の字状」での連携が言われ、将来的に無限大の結びつきを作ろうとしている。

出雲大社

宍道湖

弓ヶ浜半島(国引神話の舞台)

日本海

妻木晩田遺跡

荒神谷遺跡

築地松

斐伊川（八俣大蛇伝承の舞台）

大山

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆古よりの水辺と山並みの景観を活かす道づくり事業

水辺と山と道が一つになった景観を有するポイントを調査するとともに、その周辺にある地域資源との関連を調査し、くにびき神話で紹介される景観と対応させてストーリーのある景観スポット・景観ラインとして評価する活動を展開する。

実施者：レーク街道推進会議、NPO 法人、地域活動団体、企業

神在月ツーデーウォーク

◆出雲國神仏霊場を歩いて楽しむ道づくり事業

神仏霊場を歩いて楽しむコース作りを活用し、古代からの歴史と自然を満喫する「神仏の通ひ路」を創出する。コースを紹介するパンフレットを作成し、地域の物語を知りながら歩ける道づくりを進める。

実施者：レーク街道推進会議、松江・出雲ウォーキング協会、地域住民

◆ご縁をつなぐ「神仏の通ひ路」広報事業

圏域で取り組まれる地域づくり活動を集約して、圏域内外に広報する活動を展開。自然･景観、歴史、文化の保全と活用をテーマとし、“道”にちなむ活動を全て掲載する情報誌を編集、発行する。圏域のポータルサイトに、「神仏の通ひ路」のホームページを掲載し、全国に発信する。

実施者：レーク街道推進会議、広域連携協（情報発信委員会）

ポータルサイト

＜その他活動内容＞

◆平成 19 年度：まちめぐりナビプロジェクト、レーク街道カフェ、美保関青石畳通り社会実験
国道９号玉湯地区景観検討を実施

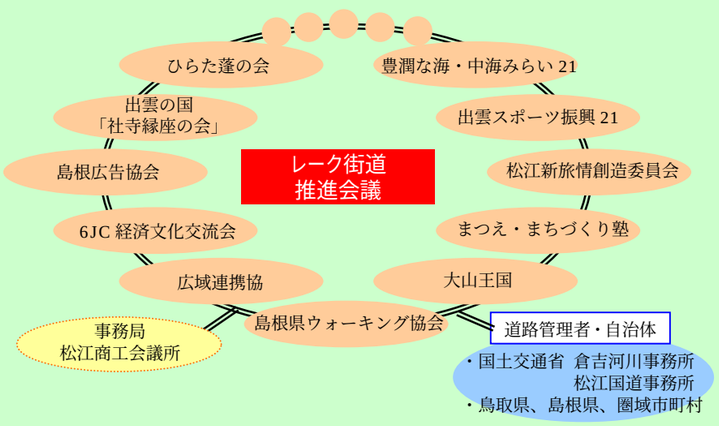
◆清掃活動・植栽活動による道路や自然景観の維持　◆景観の阻害要因の調査と景観再生マップの作成　等

■地域の活動推進体制

1）レーク街道推進会議
地域の地域づくり活動を牽引･実践する広域連携協、ＮＰＯ、各種活動団体と道路管理者･自治体が構成する風景街道パートナーシップ。

2）事務局
松江商工会議所に事務局を置く。

3）パートナーシップの役割
日本風景街道の活動を実施する。
年数回のパートナーシップ会議を開催し、活動計画、活動報告を行う。メーリングリストで､リアルタイムな情報交換を行う。



本州最西端の道「風波のクロスロード」
～自然の風と歴史の波が寄せる道～

■地域のねらい

目的：壮大な自然景観と歴史を持つ下関において、景観と地域の歴史、文化・観光資源を繋ぐ道路を下関の観光基幹ロードと位置付け、各地域の主要交流ポイント（情報発信施設等）を基点に、「訪れる人」と「迎える地域」の一体感を創出して地域の活性化及び観光交流人口の拡大を図る。

方針：車でのドライブに加え、ウォーキングやサイクリングによるスローツーリズムで、訪れる人が関門海峡や本州最西端のコバルトブルーの海岸線の景観や、日本の歴史の転換点に登場する歴史的遺跡に加え、豊かな田園景観等の空間を周回し癒しも満喫できる事業展開を図る。

■活動エリアと地域資源

・ 活動エリアは響灘の海岸線を走る国道 191 号、関門海峡を臨む国道 9 号を両軸として、国道 2 号・491 号や主要地方道沿線地域一帯とする。

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆ウォーキングイベント

維新・海峡ウォークや、豊浦コスモスウォークなどのイベントを開催し、スローツーリズムにより風景や歴史を満喫できる機会を創出している。

維新・海峡ウォークは高杉晋作ゆかりの地である東行庵から長府を経て関門海峡沿いの約 30㎞ をウォークラリー形式で歩く。関門橋や関門海峡を行き交う船など雄大なパノラマ景観を楽しめる人気の行事であり、平成 19 年で 22 回目を迎えた。

実施者：維新・海峡ウォーク実行委員会・志士の杜推進実行委員会

維新・海峡ウォーク

◆サイクリングイベント

下関市は、「サイクルタウン下関構想」を策定、自転車にやさしいまちづくりを進めているところであり、平成 15 年度には全国 15 箇所のうちの 1 つとして「サイクルツアー推進事業モデル地区」の認定を受けている。平成 18 年 11 月には「しものせきサイクルマラソン２００６」を開催。19 年度も実施を予定しており、イベントを通じて自然景観や温泉等地域の魅力を再発見しながら堪能する機会を創出する。

実施者：しものせきサイクルマラソン実行委員会

サイクルマラソン２００６

◆美化活動

国道 9 号では、「ボランティアロード」として多数の個人・団体・企業のボランティアにより花壇に花が植えられている。「海峡花通り」と命名し、平成 16 年度国土交通大臣賞「手作りふるさと賞」を受賞している。また、里山景観保全のため市内各所で竹林ボランティア等が活動している。

実施者：既存の植栽活動を行っている団体、道路等の各施設管理者

しものせき馬関まつり

＜その他活動内容＞

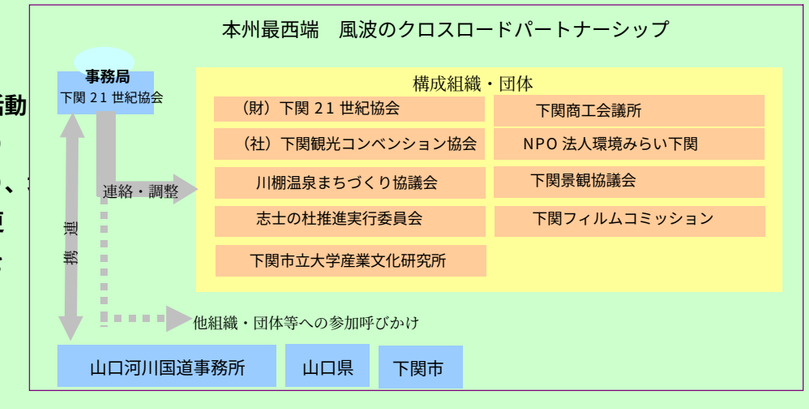
◆道路を利用した祭り
◆ルート内道路の花壇への植栽
◆情報発信、ビューポイント調査、サイン設置
◆景観に関する基本方針策定
◆ルート沿線の一斉清掃
◆フォトコンテスト

■地域の活動推進体制

１）風景街道パートナーシップ

（財）下関 21 世紀協会を事務局とし、パートナーシップを設立した。

今後、更に中心となる道路の周辺で活動している組織・団体等との調整を図りつつ、有機的に結びつけることにより、地域全域のネットワークを構築し、更なる地域の魅力の発掘とその利活用を協働して行う体制作りを行う。



しまなみ風景街道

■地域のねらい

目的：瀬戸内しまなみ海道周辺地域に広がる芸術・文化・景観をテーマに、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域の活力向上を目指す。

方針：地域の景観・自然・歴史・文化・観光資源の保全・魅力向上に取り組むとともに、瀬戸内しまなみ海道（西瀬戸自動車道）を主軸にした地域資源の利活用を官民一体となって推進する。

■活動エリアと地域資源

活動エリアは、広島県・愛媛県にまたがり、瀬戸内しまなみ海道（西瀬戸自動車道）沿線の３市町の行政区域にわたる。

本圏域は、瀬戸内海国立公園の情緒豊かな多島海景と、その景観との調和を考慮して設計された瀬戸内しまなみ海道の橋梁が織り成す眺望を有する地域である。そして、村上水軍の史跡、浄土寺や大山祇神社をはじめとした寺社仏閣などの歴史資源や国宝・重要文化財、伝統芸能などの文化資源をもあわせ持っている。

瀬戸内しまなみ海道の開通に伴い、瀬戸内海（県境）を越えた本州と四国あるいは沿線島しょ部との交流・連携の機運が高まるとともに、「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」（現在の瀬戸内しまなみ海道振興協議会）の設置により、交流・連携の具体的な行動が実現化している。

高見山からの夕景（向島）

因島水軍まつり（因島）

シトラスパーク（瀬戸田）

大山祇神社（大三島）

来島海峡大橋（今治/吉海）

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆平成19年度人材育成･活用事業

これまで、しまなみ百選事業・しまなみプロデュース事業で掘り起こした地域資源・地域活動を活かしていくため、その担い手である人材・団体の育成とそのネットワークづくりを実施する。

○情報・意見交換

市町・組織の枠を越えて、しまなみ全体としてまちづくりについて考え、交流を深めていく。具体的には、道路管理者を講師に迎え、風景街道についての学習を行う。

○ネットワークづくり講習会

異業種・異分野交流を行っている方を風景街道先進地より講師に迎え、実際の手法を学ぶ。

実施者：瀬戸内しまなみ海道振興協議会

◆平成20年度以降の取り組み

平成19年度での学習をもとに、実地の取り組みを行う。また、交流会での情報交換・意見交換をもとに新規事業の検討を行う。

実施者：瀬戸内しまなみ海道振興協議会

JICA視察（潮流体験）

アウトドア講座

水軍講座

島“んマップ講座

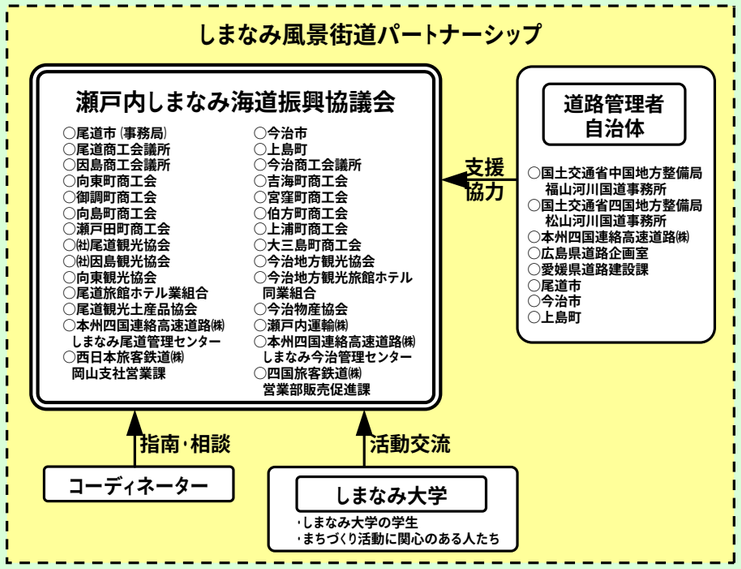
■地域の活動推進体制

1）瀬戸内しまなみ海道振興協議会

瀬戸内しまなみ海道周辺地域の活性化を図ることを目的として、瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会を設立し（平成6年2月）、地域活性化に関する研究及び施策を推進。平成19年4月、瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会との統合により現在の名称に変更。

2）風景街道パートナーシップ

参画する各団体・組織が、連携・協力して具体の活動を行う。



大山遠望歴史の道
～ゆったりイズム体験・体感～

■地域のねらい

目的：中国地方の名峰大山を東側から遠望する倉吉地域の資源を活かし、現代社会で生じる心身ストレスをリフレッシュする様々な事業を展開する。

方針：倉吉地域の暮らしに見られる、ゆったりとした生活感に着目し、「ゆったりイズム」をコンセプトに、地域の特徴ある風景にふさわしい事業展開を図る。

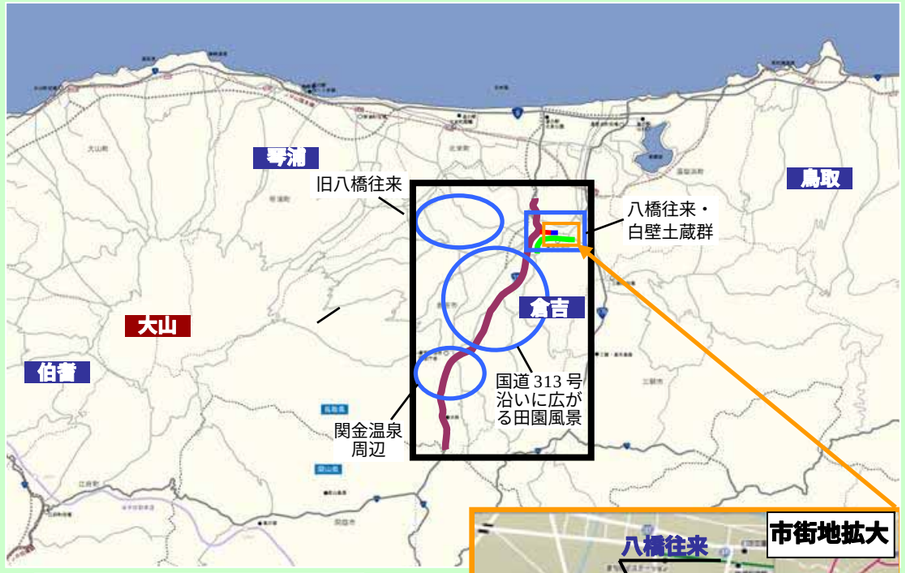
■活動エリアと地域資源

活動エリアは、国道 313 号、及び県道、市道を対象道路とした倉吉市域である。

倉吉の中心を東西に貫く「八橋往来」（現在の県道 38 号）の街道沿いには、江戸時代から昭和初期にかけて建てられた家屋や商家が数多く残っている。ここでは、白壁土蔵群を中心に観光・商業活動が活発に行われている。

関金温泉周辺では、地域の資源である清流を活かし、天然わさび栽培、薬膳料理、イワナ釣り、ホタル観賞等による誘客が図られている。

また、旧八橋往来沿いでは、伯耆国の中心として建てられた伯耆国庁国分寺の跡地がある。この地域は有数のスイカやプリンスメロンの産地であり、休耕田を活用した農業体験等が始められている。



凡 例
- 風景街道の範囲【中心となる道路】
- 一般国道３１３号
- 県道３８号線
- 市道東仲町住吉町線
- 市道東岩倉越中町線

旧八橋往来からの大山遠望

夢街道ルネサンス
“八橋往来”

打吹玉川白壁土蔵群

小泉地区のわさび田

■地域の活動内容と実施者

＜主な活動内容＞

◆日本海未来ウォーク

人と緑がふれあうまち倉吉とその周辺を２日間にわたり歩くもので、歩くよろこびを感じながら、鳥取県中部地区の魅力を再発見することを目指す。

実施者：ＮＰＯ法人　“未来”

◆クラナリエ・ドリームイルミネーションコンテスト

市役所通りでのイルミネーションを使ったイベントの開催

実施者：打吹地区振興会

◆清流を活かした体験・食事

大山をバックに倉吉市から日本海を展望できる自然のパノラマ、清流を活かした天然わさび、イワナ等の食材を活用した“薬膳料理”の提供。薬膳勉強会の開催。

実施者：ＮＰＯ法人　“養生の郷”

＜その他活動内容＞

◆まちづくりフォーラムの開催

◆ビューポイントマップの作成

◆“八橋往来”写真展の開催

◆白壁土蔵群内での鳥取短期大学学生による喫茶店の運営　等

日本海未来ウォーク

クラナリエ

ドリーム
イルミネーション
コンテスト

渓流の里

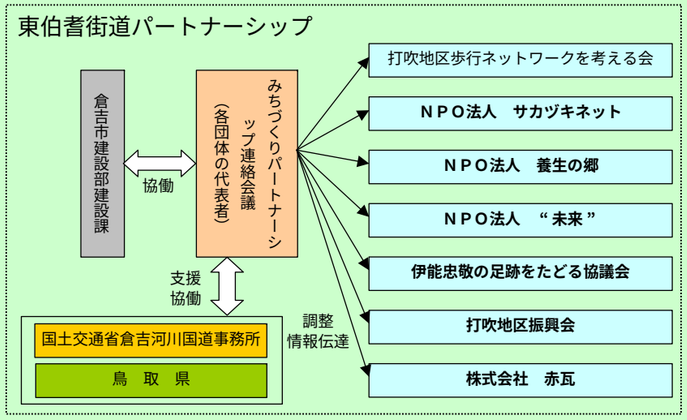
鳥取短期大学学生運営の喫茶店「和気」

■地域の活動推進体制

1）設立年；平成１８年３月

2）みちづくりパートナーシップ連絡会議

参加団体の代表者によって構成され、連携会議の目的を達成するための運営・企画・活動を行う。

3）倉吉市建設部建設課

地域の住民・活動団体・関係機関等の情報収集や、まちづくり活動支援事業等の情報提供、各種イベント等の情報発信を役割とする。